

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2023-24年度 RI会長／ゴードンR.マッキナリー
RI.D2590ガバナー／樋口 明
横浜旭RC会長／田川 富男



ウクライナ避難民支援



ポリオ撲滅運動
パキスタンにて

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
<http://yokohamaasahirc.cho88.com>
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2024年1月10日 第2530回例会 VOL.55 No.19

■司会 SAA 目黒 恵一

■開会点鐘 会長 田川 富男

■四つのテスト

■出席報告

会員数	19名	本日の出席数	12名
本日の出席率	63.16%	修正出席率	83.33%

■本日の欠席者

福村、中谷、二宮、宋、関口、日向、新川

■オンライン出席 市川、佐藤（勉）

■ビジター

桑原 薫様（地区職業奉仕副委員長 横浜港北 RC）

亀ヶ谷純子様（横浜港北 RC）



■ゲスト 宋 潤坤さん（米山奨学生）

■会長報告 田川 富男

新しい年を迎えて本年もよろしくお願ひ申しあげます。

昨日は、新川さんの実父の葬儀（通夜式）に列席されまして、ご苦労様でした。葬儀訃報では今、北部斎場に向かっている時間であります。そして、能登半島地震にて多くの方々が他界されお悼み申し上げ、黙祷を捧げたく思います。

黙祷

新年早々ですが、臨時総会を開催させて頂く予定でしたが次回例会に変更します。

令和6年能登半島地震につきましては、未だに大きな余震が続き、行方不明の方々も多々おられる報にあたり、東日本大震災に匹敵する程の大震災とのこと聞きました。

地震によって、被災を受けられた方々にはお見舞い申し上げます。

当クラブに於いても対岸の火事ではなく、明日は我が身の気持ちで接することが肝要と東日本大震災以来から思っています。それは、今回で11回目となるチャリティーコンサート等による風化防止と「てんでんこ」による災害被害の拡大防止の《すすめ》が必要であり、ロータリーだから出来る事、他の奉仕団体では出来ない社会奉仕活動です。

本日は、第2590地区職業奉仕副委員長桑原薫様には、新年早々にご訪問いただきました。そして、社会奉仕、職業奉仕についての卓話を

お願い致しました。

ありがとうございます。

■ニコニコBOX

桑原 薫様（横浜港北 RC）／本日お世話になります。

亀ヶ谷純子様（横浜港北 RC）／本日は我がクラブの先輩、桑原さんの応援のためにお伺いさせていただきました。横浜旭さんへは、宋会員入会式にお邪魔させていただいた以来の訪問で久しぶりです。どうぞ、宜しく願い申し上げます。

田川 富男／①新川会員お父様のご冥福をお祈り致します。②能登半島地震、被災を受けられた方々には、お見舞い申し上げます。③第2590地区職業奉仕副委員長、桑原薫様、本日の卓話宜しく願い致します。

安藤 公一／①新年明けましておめでとうございます。本年も宜しく願いします。②桑原様、ご多用の中ご来訪頂きありがとうございます。卓話よろしく願い致します。③全国高校ラグビー大会で母校桐蔭学園が優勝しました。皆様の応援に感謝申し上げます。

岡田 隆／①会員の皆様、本年もよろしく願い致します。②桑原様、亀ヶ谷様ようこそお越し頂きました。本日の卓話よろしく願いたします。

佐藤 利明／①新年明けましておめでとうございます。今年も宜しく願いします。②地区職業奉仕副委員長桑原薫様、新年早々の卓話お忙しい中ご苦労様です。

佐藤 真吾／①本年もよろしく願いします。②桑原様、亀ヶ谷様ようこそ。③宋さんようこそ。

■卓話／職業奉仕の話、誰が難しくしているの？

地区職業奉仕副委員長 桑原 薫様

活動と運動（考えを変えることの勧め）

Community Service Activities

（社会サービス活動）は活動

この「社会奉仕活動」と訳された活動には「団体とする活動」と「個々とする活動」がありま



す。1923年、前者を、研究室の実験と見なし「これをする場合には、単年度で打ち切ることが望ましい」などの縛りを掛けました。なぜなら「Serviceの理論を団体で学び、それを個々で実践に移すこと」という原則を尊重したからです。

1923年のCommunityService（社会サービス）は運動

1922年「会員が、自分の個人生活・職業生活・社会生活において、ロータリーの原理を応用する」という目標（Object）を設定しました。翌年、この目標を常に心掛け、推奨することをCommunityServiceと名付けました。梅吉翁は、これを「社会サービス」と訳しました。ところが、外国語禁止提案（1934）によって「サービスを奉仕に書き換える」ことになりました。その結果、「社会サービス」が、偶然「社会奉仕」になってしまい、あらぬ誤解を招くことになったのです。

1927年のVocational Service（職業サービス）は運動

目標設定計画（1927）により、Community Service（1923）を三つに分け、その一つをVocational Serviceと名付けました。その定義は「会員が、自分の職業生活において、ロータリーの原理を応用する、ということを常に心掛け、推奨すること」です。

梅吉翁は、これを「職業向上サービス」と訳しましたが、1934年に「職業奉仕」と書き換えられたため、この運動が「奉仕活動」のことだと思われてしまったのです。

1927年のCommunity Service（社会サーヴィ

ス)は運動

1927年「会員が、自分の社会生活において、ロータリーの原理を応用する、ということに常に心掛け、推奨すること」を

CommunityService (1927)と名付けました。

ロータリーの原理とは

1915年、哲学委員長グレン・ミードは「Self (利己心)よりも、Service (貢献)の方が、より多くの利益を生み出す」というIdeal (理想的な原理)をThe Ideal of Serviceと呼びました。梅吉翁は、これを「サーヴィス理想」と訳しましたが、1934年に「奉仕の理想」と書き換えられたため、様々な誤解を招いてしまったのです。

1918年、ロータリーは、この原理を「Enterprise (企業)のBasis (基本原理)」として推奨することにしました。

「奉仕・Service・サービス・サーヴィス」の違い

Serviceは「人の役に立つ働き・果たすべき務め」ですが、奉仕は「損得抜きで、他に尽くすこと」です。また「サービス」は和製英語であり、Serviceの意味で使われたり、奉仕の意味で使われたりする言葉です。なお、梅吉翁は、Serviceを「サーヴィス」と訳しました。ちなみに、最近の国際ロータリーは、Serviceを「活動」の意味で使っていますが、公式文書では「貢献・提供・任務・役務」などの意味で使われています。

◎決議23-34の序文の真意

決議23-34の序文には「ロータリーにおいて社会奉仕とは、ロータリアンのすべてがその個人生活、事業生活、および社会生活に奉仕の理念を適用することを奨励、育成することである」と記されています。ただし①「社会奉仕」はCommunityService (社会サーヴィス)の訳②「すべて」はEach (それぞれ)の訳③「事業生活」はBusiness life (職業生活)の訳④「育成する」はFoster (心に抱き続ける)の訳⑤「奉仕の理念」はThe Ideal of Service (サーヴィスに関する

理想的な原理)の訳です。

実は、The Ideal of Serviceは「奉仕の理念」ではなく、ある原理(Principle)につけた呼び名です。この原理は「Self (利己心)よりもServiceの方が、より多くの利益を生む。そして、Serviceと利益は比例する」という企業のBasis (基本原理)です。この原理は、Practical (現実的)でEthical (合理的)な原理と説明されています。

また、Community Serviceは「社会奉仕」ではなく「ある運動(Movement)」につけた呼び名です。実は、上記の定義は、この運動(ある考えを推進すること)の定義です。

そして、このCommunity Service (1923)の定義から「個人生活と職業生活」を除いたものがCommunity Service (1927)の定義であり、「個人生活と社会生活」を除いたものがVocational Service (1927)の定義です。

梅吉翁は、Community Serviceを「社会サーヴィス」、Vocational Serviceを「職業向上サーヴィス」、The Ideal of Serviceを「サーヴィス理想」と訳しました。ところが、外国語禁止提案によって、サーヴィスを奉仕に書き換えることになり、これらが1934年に「社会奉仕」「職業奉仕」「奉仕の理想」となってしまったのです。しかし、Service (サーヴィス)を奉仕と書き換えることはできません。なぜなら、「Service = 奉仕」ではないからです。奉仕は「損得抜きで他に尽くすこと」ですから商売になりませんが、Serviceは「人の役に立つ働き・果たすべき務め」なので商売になるのです。

■能登地震情報

▶能登半島地震の被災者支援へ (ABA 青森朝日放送)

青森市内で募金活動1月1日に発生した能登半島地震の被災者を支援しようと、青森市内の奉仕団体が募金活動を行いました。

募金活動は、青森ロータリークラブなど市内で活動する4つのクラブの会員が市内2カ所で行いました。このうち、サンロード青森では、開始直後から多くの人々が次々と募金をしていま

した。

【募金をした人】

「まだ孤立している所もありますし、早くいつもの生活に少しでも近付いてほしいと思います」

【RI 第 2830 地区中グループ工藤真人ガバナー補佐】

「これから能登の方でもまたいろんな支援活動が必要になるかと思いますが、これからも我々にできる支援があれば支援していきたいと思っております」

募金活動は 14 日も行われ、集まった支援金は、国際ロータリーを通じて、被災地での支援に使われます。

▶学習支援に通う児童に学用品の寄附があります(岡崎ロータリークラブ 様)。

岡崎ロータリークラブ様より、岡崎市が実施している学習支援に通う児童を応援したいと社会福祉協議会に申し出があり、令和 5 年度の学習支援対象児童 120 人全員に学用品を配布され

ます。

日時/令和 6 年 1 月 17 日(水) 12 時 55 分～

場所/岡崎市社会福祉センター 2 階 多目的室
内容/学用品 (合計 300,000 円相当)

岡崎ロータリークラブ様からは、平日の夕方に開催している学習支援に通う児童に、令和 5 年 11 月～令和 6 年 3 月の期間、15 日分(合計 225 食)の弁当を届ける支援もいただいています。

▶輪島 RC・能都 RC=HP には今回の地震についての記載無(1.16 現在) 穴水 RC は HP 無。

▶国際ロータリー第 2610 地区 富山・石川 HP 現状地震に対する情報なし(1.16 現)

▶富山県小矢部市/小矢部 RC

元日に起こった能登半島地震におきまして、2610 地区では甚大な被害が発生しました。ガバナー事務所でもすべてを把握できない状況であるとのこと。

小矢部ロータリークラブは、会員の事業所、自宅など多少の被害はあったものの、幸いにも会員の皆さんに怪我された方はおいでません。

2023 年度 11 月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	
1	安 藤 公 一	100	0	100	12	岡 田 隆	33	67	100	
2	福 村 正	67	0	67	13	佐 藤 真 吾	67	33	100	
3	市 川 慎 二	67	33	100	14	佐 藤 利 明	－出席規定免除－			
4	五十嵐 正	100	0	100	15	佐 藤 勉	67	0	67	
5	草 柳 孝 広	67	0	67	16	関 口 大 樹	33	34	67	
6	北 澤 正 浩	67	33	100	17	宋 謹 衣	0	0	0	
7	増 田 嘉 一 郎	67	33	100	18	田 川 富 男	100	33	133	
8	目 黒 恵 一	67	33	100	19					
9	中 谷 逸 希	0	0	0	20					
10	新 川 尚	100	200	300	21					
11	二 宮 麻 理 子	0	0	0	22					
例 会 日		1 日		8 日		10 日				平均
例会出席率		$\frac{12}{18}$	66.67%	$\frac{13}{18}$	72.22%	$\frac{4}{17}$	23.53%			
修正出席率		$\frac{13}{18}$	72.22%	$\frac{13}{18}$	72.22%	$\frac{11}{18}$	61.11%			68.52%